

第26回運営委員会概要 10月21日（金）18:30～21:40

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
 - ◆ 出席委員：新野・渡辺（丈）・石田・久我・川口・佐藤・三宮・武本・渡辺（五）委員
 - ◆ オブザーバー：金城所長・早川所長・高橋参事・布施課長・中山課長・長野室長
 - ◆ 事務局：押見事務局長、柏崎市／名塚係長・桑原主任
-

オブザーバーとの意見交換

【情報発信について】

- 委員より
 - ・情報のキャッチボール的なやり取りがなかなかできない。また、発信者側は専門用語を当たり前のように使うくらいがあり、受取側との間に専門用語のギャップがあり、正しいことがきちんと伝えられているかが難しい点。
 - ・発信者側と説明の不明な点についてのやり取りができればいいと思う。
 - ・分かり易く説明して欲しいという反面、却って誤解を招くような場合もあり、その辺が難しい。
 - ・原子力に関して、賛成・反対・関心のない人のどこをターゲットにするかという点が難しい。
- オブザーバーより
 - ・発信側として、きちんと伝わっているのかは気になる。会終了後に、わからない点などを指摘してもらえばいいと思う。
 - ・東京電力では情報誌を作る時、女性社員に読んでもらうなどして、なるべく分かり易い内容にする工夫はしている。
 - ・会では、分かり易い説明を心がけているが、なかなか伝わらない部分もあり、説明の中で、分からない点は指摘してもらおうと有り難い。

【会の役割について】

- 委員より
 - ・友人から自分が地域の会の委員になっていることで、地域の会が身近に感じるようになったと言われた。少し貢献できているような気がする。
 - ・東京電力の不祥事により会が発足したわけだが、コミュニケーションができるだけでもいいことだと思っている。最初からまとまる会でないとか、見方が違うから意見は一つにならないとかという言葉でくくらないほうがいいと思う。
 - ・情報がきちんと伝わるにはそれなりの知識が必要となる。地域の会が、情報の伝わりにくい人へ、少しでも伝える役目ができればと思う。
 - ・会の目的としては、発電所の安心・安全を少しでも持てるようにすることだと思っている。
 - ・地域の会を傍聴できることを知らない人がまだかなりいると思う。なんらかの形でPRしていく必要があると思う。

【オブザーバーへの要望について】

- 委員より
 - ・トラブルがあった時に県市村は東電の状況確認をするが、例えば5号機の停止の時にはボイラーの出力チャートのデータをもらうなど、行政はもっと住民の側にたって、本当はど

うなんだという視点でやってほしい。(難しいこととは思いますが。)

- ・ 会としては、疑問に対して安心できる回答がほしいというのが目的なので、明確に反応してほしい。質問は厳しいものが出てくるのは当然のこと。

【会の運営について】

➤ 委員より

- ・ 定例会を西山と刈羽で開催したことは良かったと思う。出かけていくこと自体に意味があったと思う。
- ・ 会を周知するという点については考えていかなければならず、会としていろいろなところに出かけていくというのはそれなりに意味があると思う。
- ・ 「地域」の会なのだから、これからもいろんな地域に出向いた方が良いと思う。
- ・ 地域の会は発電所を止める、止めないの権限はないとしても、ある程度目的を持ったほうが、運営の手法がはっきりしてくるのでは。

【地域の会に対して】

➤ オブザーバーより

- ・ 情報発信側と一般住民の受取側のギャップを埋める役目をしてもらいたい。
- ・ 委員の方には、県内だけでなく県外のいろんな現場や地域を見てもらいたい。
- ・ 地域の会のような集まりは全国的にも貴重であり、情報発信側としてもニーズを知ることができるのは非常に有り難い。

防災訓練について

- ・ 月末までに希望視察先を募り、事務局で調整し、2日の定例会で報告する。
- ・ 視察2日目の訓練終了後、広報センターにおいて昼食をとりながら、視察のとりまとめをする。

情報誌について

- ・ 11月2日定例会前の6時に運営委員は集合して、視点原稿の検討。
- ・ 15号視点：編集後記、みんなの広場1名…佐藤委員に依頼。
- ・ 16号視点：みんなの広場1名…久我委員に依頼。
- ・ 残りの原稿依頼は事務局で行う。

次回定例会について

- ・ 県よりヨウ素剤の質問事項の回答。
- ・ 女川の地震について、経過報告を保安院の方からしてもらおう。時間の関係（終了後、懇親会のため）で質疑は次回にまわす。
- ・ 今のオブザーバー席の配置では発言する時に構えてしまうし、背中側から発言を聞く委員もいる。意見交換しやすいよう、委員側にオブザーバー席を3人分用意し、委員の席の輪の中に入れてもらったかどうか。
- ・ 委員の席が固定化しているので、事務局で名札をあらかじめランダムに席に置いておくこととする。